

## 貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【現金及び預貯金】	【 190,558,147 】	【保険契約準備金】	【 198,239,857 】
現金及び預金	190,558,147	支払準備金	2,775,453
【有形固定資産】	【 224,885 】	責任準備金	195,464,404
その他の有形固定資産	379,438	【その他負債】	【 509,836,573 】
減価償却累計額	-154,553	未払金	31,539,393
【無形固定資産】	【 9,442,980 】	共同保険借	107,325,994
ソフトウェア	9,442,980	再保険借	343,584,986
【その他資産】	【 572,882,544 】	未払法人税等	26,983,900
共同保険貸	197,657,433	未払事業税等	402,300
再保険貸	297,583,589		
前払費用	3,240,000	負債の部合計	708,076,430
保険積立金	12,595,278	純資産の部	
長期前払費用	23,142,417	【株主資本】	【 65,032,126 】
供託金	10,000,000	(資本金)	( 35,000,000 )
繰延税金資産	28,663,827	資本金	35,000,000
		(資本剰余金)	( 35,000,000 )
		資本準備金	35,000,000
		(利益剰余金)	( -4,967,874 )
		繰越利益剰余金	-4,967,874
		純資産の部合計	65,032,126
資産の部合計	773,108,556	負債及び純資産の部合計	773,108,556

## 損 益 計 算 書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

科 目	金 額	円
【保険引受収益】		
収 入 保 険 料	1,230,262,477	
再 保 険 金 収 入	47,414,928	
再 保 険 手 数 料 収 入	834,250,538	
再 保 険 返 戻 金 収 入	21,970,351	
雑 収 入	18,886,419	2,152,784,713
【保険引受費用】		
支 払 保 険 金	52,236,426	
損 害 調 査 費	446,813	
解 約 返 戻 金	24,402,858	
再 保 険 料	1,107,740,042	
支 払 備 金 繰 入	2,775,453	
責 任 準 備 金 繰 入	195,464,404	
合 計	( 1,383,065,996 )	1,383,065,996
【営業費及び一般管理費】		757,079,497
経 常 利 益		( 12,639,220 )
税 引 前 当 期 純 利 益		( 12,639,220 )
法 人 税 及 び 住 民 税 等		27,386,200
法 人 税 等 調 整 額		-23,531,693
当 期 純 利 益		( 8,784,713 )

## 個 別 注 記 表

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

### I. 重要な会計方針に係る事項

#### 1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法

無形固定資産 定額法

#### 2. 収益及び費用の計上基準

①収益の計上基準は、発生主義に基づく実現主義で計上しています。具体的には保険始期ベースで計上しています。

②費用の計上基準は、発生主義で計上しています。

#### 3. 消費税等の会計処理は税込方式によっています。

### II. 貸借対照表に関する注記

#### 1. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務は次の通りであります

金銭債権 197,657,433 円

金銭債務 136,685,147 円

#### 2. 当期末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりです。

##### [支払備金]

普通支払備金（出再支払備金控除前） 27,754,531 円

同上にかかる出再支払備金 24,979,078 円

差引 2,775,453 円

##### [責任準備金]

普通責任準備金（初年度収支残） 192,339,185 円

異常危険準備金 3,125,219 円

計 195,464,404 円

### III. 損益計算書に関する注記

#### 1. 収益及び費用に関する金額

①正味収入保険料は、120,089,928 円です。

②正味支払保険金は、5,268,311 円です。

③支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりです。

差額補充法によって積み立てています。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前） 27,754,531 円

同上に係る出再支払備金繰入額 24,979,078 円

差引（イ） 2,775,453 円

④責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりです。

差額補充法によって積み立てています。

普通責任準備金繰入額（初年度収支残） 192,339,185 円

異常危険準備金繰入額 3,125,219 円

計 195,464,404 円

#### IV. 株主資本変動計算書に関する注記

(1) 当期事業年度の末日における発行済株式の数 140,000 株であります。

#### V. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の総額は 28,663,827 円であります。

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳は、収支残による積立超過額分の責任準備金 28,663,827 円であります。

#### VI. 金融商品の状況に関する注記

##### (1) 金融商品の状況に関する事項

少額短期保険業者の資産運用は、預貯金（外貨建てを除く）・国債・地方債等に限定されているうえ、当社では安全性・流動性の確保のため決済預金及び預貯金による運用を基本方針としております。

##### (2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 31 年 3 月 31 日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。（単位：千円）

科 目	貸借対照表計上額	時価（※1）	差額
(1) 現金及び預金	190,558	190,558	—
(2) 共同保険貸	197,657	197,657	—
(3) 再保険貸	297,583	297,583	—
(4) 共同保険借	(107,325)	(107,325)	—
(5) 再保険借	(343,584)	(343,584)	—

（※）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（注）金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預金、(2) 共同保険貸、(3) 再保険貸、(4) 共同保険借、(5) 再保険借  
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

## VII. 関連当事者との取引に関する注記

種類	会社等の名称	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	e-Net ホールディングス(株)	被所有 直接 100%	経営指導	経営指導料 (注1)(注2)	41,459	—	—
親会社の子会社	e-Net 少額短期保険(株)	なし	共同保険に係る関連業務委託契約	業務委託共同保険に係る精算(注3)	—	共同保険貸	197,657
				共同保険借	107,325		
その他の関係会社	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	被所有 間接 38.4%	再保険	再保険料(費用)	1,107,740	再保険借	343,584
				再保険金(収益)	47,414	再保険貸	297,583
				再保険手数料(収益)	834,250		
				再保険返戻金(収益)	21,970		
				出向受入 (注1)(注4)	6,860	—	—

### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 取引金額は税抜き、期末残高には消費税等が含まれております。
- (注2) 当事者間の交渉の上、合理的な金額で経営管理指導及び業務受託契約を決定しています。
- (注3) 業務委託契約および付帯覚書による共同保険諸勘定に係る経理決済ルールに基づき、合理的な条件で決定しています。
- (注4) 受入出向料については一般取引と同様に決定しています。
- (注5) 譲渡金額は解約返戻金相当額を元に決定しております

## VIII. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当り純資産額は、**464.5**円であります。
- (2) 1株当りの当期純利益は、**62.74**円であります。